

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 4日 更新

事務事業名		体育施設維持管理運営事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	3	教育の健幸		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	渡辺 良輔
	施策	11	生涯スポーツの推進		所属課	生涯学習課	担当者名	山田 清
	業務分野	40	スポーツ施設(環境)の整備		所属班	スポーツ振興班	(内線)	1509
予算科目		会計一般	款 10	項 6	目 2	事業連番 10851	法令根拠	スポーツ基本法
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市が管理している体育館やグラウンド等のスポーツ施設を、安全で快適に利用してもらえるように管理運営する事業である。 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)
【業務の流れ】	市内スポーツ施設に係る清掃委託、管理委託、自家用電気工作物保守委託、学校開放管理委託、修繕業務及び改修工事に係る設計書作成・契約事務・監理・支払事務、消耗品購入支払事務及び運搬補充、光熱水費、燃料及び電話代支払事務、工事関係事務、施設貸出予約受付・収納事務、大会利用打合せ事務、スポーツ用品貸出事務。
【主な予算費目】	消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費、印刷製本費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費、負担金補助金及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

【目的】快適に利用できるスポーツ施設運営管理を行う。
 【内容】スポーツ施設の運営・維持管理・点検・修繕・工事を行う。
 【実績】市内スポーツ施設の管理業務委託を行った。中九州横断道路用地にかかる総合運動公園施設解体工事、みずき台テニスコート修繕工事、黒石体育館床研磨、泉ヶ丘テニスコート人工芝修繕等を行った、各スポーツ施設の突発的な修繕対応、電気・消防設備の保守点検を行った。また体育館照明のLED賃貸借契約を行った。
 【成果】市民が安全で快適にスポーツができる状態に保つことができた。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

引き続き、スポーツ施設の運営・維持管理・点検・修繕等を行う。

③予算の主な増減の理由

大規模修繕が完了したことによる施設修繕費の減

成果指標

ア 維持管理に関する苦情件数

(単位)

件

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア 件	件	3	3	3	3	3	3	3	3
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円			8,900				
	その他	千円	15,347	16,003	14,185	152,526	12,000	12,000	12,000
	繰入金	千円							
一般財源	千円	31,356	33,276	37,379	49,168	65,836	32,436	36,036	44,566
(A) 事業費計	千円	46,703	49,279	51,564	210,594	77,836	44,436	48,036	56,566

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

円滑な受付業務と適切な管理運営を行うことによって、安全で快適なスポーツ施設を提供できると考える。修繕や改修工事は計画的に進めていく必要がある。老朽化に伴う管理費は毎年増加している。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)